

4.1 資料ページ 江守正多 Seita Emori

[資料 4.1.1]

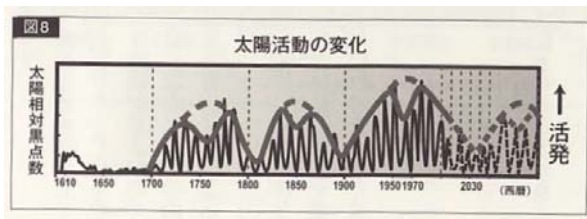


図 4.1.1-1 丸山 (2008a) p.89 の図 8

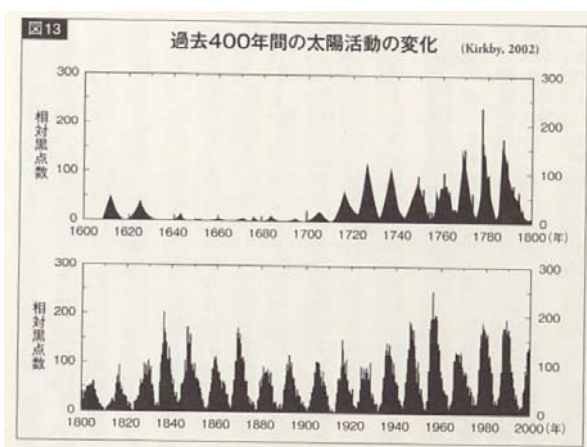


図 4.1.1-2 丸山 (2008a) p.103 の図 13

太陽相対黒点数（黒点相対数）の変化. 図 4.1.1-1 と 図 4.1.1-2 は丸山様の同じ本の別のページに掲載されているもの. 丸山茂徳 (2008a) 「地球温暖化」論に騙されるな!, 講談社, 189pp より.

図 4.1.1-3 は 1950-2000 年の期間を取り出して拡大したもの. a は 図 4.1.1-1, b は 図 4.1.1-2 より. c はベルギー王立天文台 Solar Influence Data analysis Center のデータより.

<http://sidc.oma.be/html/wolfam1.html>

b は c と整合的であるが, a はそれらと比較して最後の 2 つのピーク (1990 年頃と 2000 年頃) が 3 割程度大きい.

ただし, 図 4.1.1-1 を拡大するにあたり, 1950 年頃までは 図 4.1.1-2 と比較的よく合っているため, それ以降のピークの数に対応させた. この場合, 1900 年の次の縦点線は 2000 年ではなく 2010 年に, 横軸「2030」の表記の中心に近い縦点線は 2030 年ではなく 2040 年に対応するようである. 1900 年の次の縦点線を 2000 年だと思った場合, 1950 年から 2000 年までのピークの数が他のデータより一つ多くなり, さらに明瞭に 図 4.1.1-1 が間違っていることになってしまう.

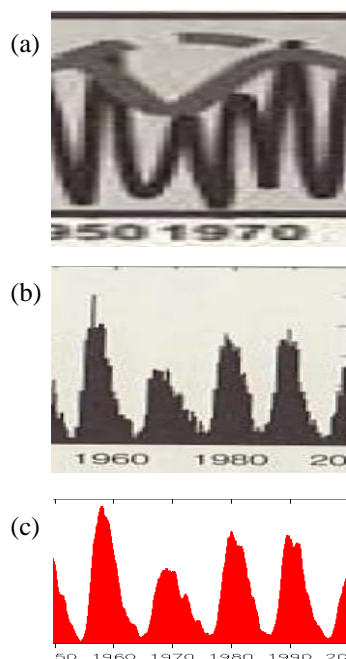


図 4.1.1-3 1950-2000 年を拡大したもの (c はベルギー王立天文台のデータ)